



# 「災害級」の感染だから「自分の命は自分で守って！」の政府ではいけません。検査・発見し、保護・治療するのが行政の責任です！



8/11新型コロナ対策要望書を提出する(左から)諸橋市議、笠井市議、大滝副市長、斎藤地区委員長、遠藤県議



要望書提出後に、抗原検査の会場を視察する(左から)服部前市議、遠藤県議、笠井市議

検査結果  
感染を防ぎましょう。

この日からアオーレ長岡では帰省者対象の新型コロナ無料抗原検査が始まりました。初日も市内病院も力を合わせてコロナ対策に取り組んでいることは安心です。私たち市民も、ひとり一人ができる対策をしつかりと取り組み感染を防ぎましょう。

市医師会の協力で命を守る取り組み  
お盆期間に無料抗原検査を実施  
党市議団は10回目のコロナ対策要望書

## 命を軽視する菅政権に退場の審判を！ 総選挙は市民と野党の共闘を進め、 比例は日本共産党へのご支持を！

県議会議員 遠藤れい子



皆さん、いつも大変お世話になっております。「命を守る現場」=急性期病院の看護部長から大転換し、県会議員3年目となりました。

コロナ感染が急拡大、ベッドが不足し中等症も入院できない現実が広がっています。国民の命を守る、暮らしを守るのが政治の責任であるのに、命をないがしろにする菅自公政権を許す訳にいきません。退場してもらいましょう。

「命を守れ！暮らしを守れ！」の声を更に強くし、市民と野党の共闘で総選挙を勝利し、政治を変えましょう。私も全力をつくします。

【総選挙は一人が2回投票します=制度解説】

➡小選挙区は候補者名を書いて投票します。

➡比例代表は政党名を書いて投票します。

日本共産党への一票は、命を守り、政治を変えます。あなたの願いを日本共産党へ！

## 「もったいない」から「ありがとう」へ フードバンクがおかを訪問

8月6日、遠藤れい子

県議は服部耕一前市議とともにフードバンクなおかを訪問し、代表の山崎一雄さんから新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急申し入れ

8月10日、共産党新潟県委員会は遠藤れい子県議とともに、「コロナ感染拡大防止の緊急対策を県に要望しました。」

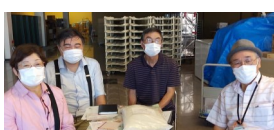
話を伺いました。

昨年3月、フードバンクなおかを開設。50人の利用者が、1年半で150人と3倍に増えました。コロナの影響でさらに増えると思

います。でも、ボランティア頼みでは対応できなくなり。行政の理解が進んできています。様々なNP

〇や団体とも繋がりが広がっています。持続可能な組織にしていきたい。

この日も暑い中、ボランティアの皆さんが食品の仕分けや分類を行い準備を行っていただきました。皆さん頑張ってください。



(左から)遠藤県議、服部前市議、(右端)山崎代表



集まった支援品の数々